

7月10日 岩手県内陸北部の地震

情報発表に用いた震央地名は〔岩手県沿岸北部〕である。

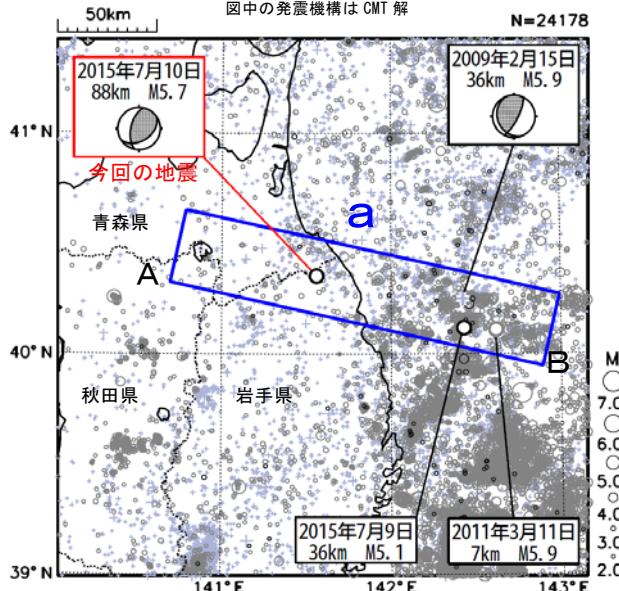
震央分布図

(1997年10月1日～2015年7月31日、
深さ0～150km、M≥2.0)

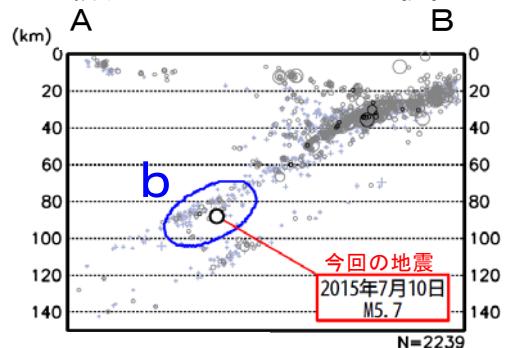
東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、
2015年7月の地震を濃い○で表示

図中の発震機構はCMT解

N=24178

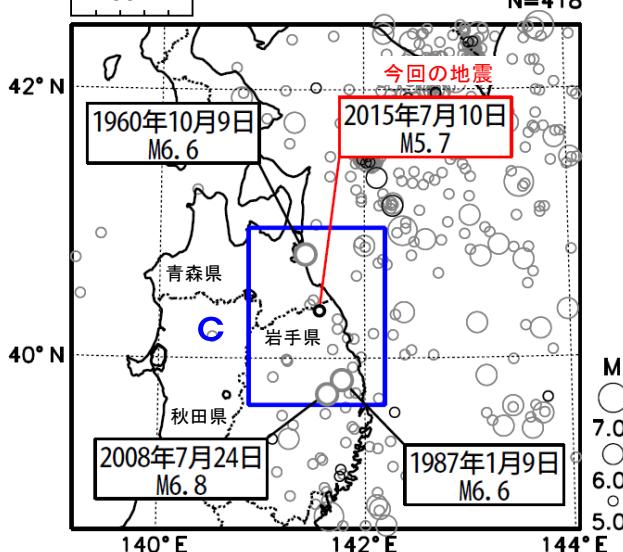


領域a内の断面図(A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2015年7月31日、
深さ50～150km、M≥5.0)

N=418

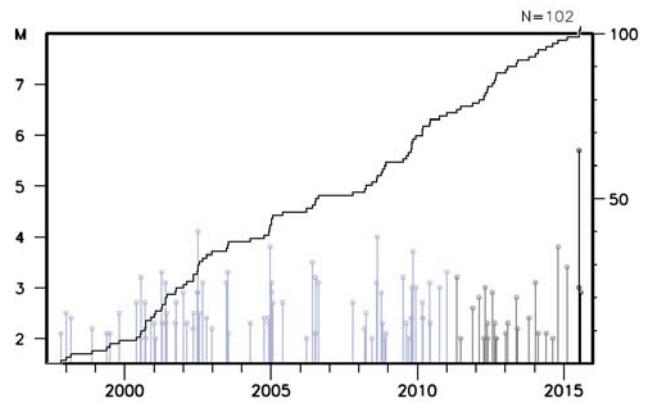


2015年7月10日03時32分に岩手県内陸北部の深さ88kmでM5.7の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。この地震により、負傷者2人の被害が生じた(総務省消防庁による)。余震活動は低調であった。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0を超える地震は発生していなかった。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、2008年7月24日にM6.8の地震(最大震度6弱)が発生し、死者1人、負傷者211人、住家全壊1棟、一部破損379棟などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

